

報道機関各位

熊本大学

現代ピアノ音楽の諸相

熊本大学教育学部・大学院教育学研究科の招聘によりロンドン大学シティ校イアン・ペイス教授（ピアノ、音楽学）による特別公演が開催されます。

世界的に活躍するピアニストのイアン・ペイス教授はこれまでに300曲以上の新曲を初演し、40枚以上のアルバムをリリースしています。作曲家稲森安太己特任准教授による楽曲解説を伴う公演で、現代の新しい音楽表現の最前線を垣間見る機会となります。ピアノの名技性の真髄とも言えるリスト編曲によるベートーヴェンの交響曲に始まり、現代における古典となったシュトックハウゼンの音楽、そして現代作曲の最も新しい潮流の一つである「新しい複雑性」の音楽を通して、音楽史上のピアニズムの拡張を眺望します。

熊本において現代の新しいピアノ・レパートリーの実演に触れる稀な機会であり、稲森安太己特任准教授による新曲初演を含む挑戦的なプログラムとなっています。

広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしく願いいたします。

記

- 【日時】 令和6年6月24日（月）18:30～21:00
- 【場所】 熊本大学教育学部音楽棟 音楽ホール（熊本市中央区黒髪2丁目40番1号）
- 【対象】 一般の方（小学生以上）
- 【参加費】 無料（要予約）
- 【申込方法】 下記申込先に、E-mailにてお申し込みください。
申し込みの際は、氏名とご予約人数をお知らせください。
熊本大学音楽理論研究室（稲森）
E-mail: yinamori@educ.kumamoto-u.ac.jp
[申込締切] 令和6年6月23日（18:00）

※詳しくは別紙チラシをご覧ください。

【お問い合わせ先】

熊本大学音楽理論研究室

担当：稲森

TEL：096-342-2682（研究室直通）

ピアノ / 音楽の最先端を聴く!!

熊本大学教育学部・大学院教育学研究科主催特別公演

現代ピアノ音楽の諸相

～イアン・ペイス氏を迎えて～

2024年6月24日(月)

開場 18:15

演奏楽曲解説 18:30

演奏会 19:00

場所 / 熊本大学黒髪北キャンパス 教育学部音楽棟 音楽ホール

熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

熊本駅・桜町バスターミナルからノ産交バス等：楠団地・光の森産交行き等（子飼経由）「熊本大学前」下車

出演 / イアン・ペイス (ピアノ、ロンドン大学シティ校教授)

稲森 安太己 (解説、熊本大学教育学部特任准教授)

入場料 無料 (予約制*)

対象 小学生以上

*当日お席に空きがない場合、ご予約のないお客様はご入場できないことがございます。

主催：熊本大学教育学部・大学院教育学研究科

共催：コガネイカルチャー、熊本大学音楽理論研究室

連絡先 (予約) / 熊本大学音楽理論研究室 (稲森) yinamori@educ.kumamoto-u.ac.jp



現代ピアノ音楽の諸相

ピアノは西洋クラシック音楽の花形楽器として高い人気を誇る楽器です。特に、19世紀ロマン派の時代には、多くのピアニスト作曲家が超絶技巧的と呼ばれる高難度の演奏技術を開拓し、その楽曲はレパートリーとして定着してきました。ピアニストのヴィルトゥオジティ（名技性）は、今日でも作曲家のインスピレーションであり続けています。

この度、熊本大学教育学部では世界的ピアニストのイアン・ペイス氏（ピアニスト、音楽学者、ロンドン市立大学教授）をお招きし、公演会を開いていただくことになりました。ペイス氏は現代の新しい音楽のスペシャリストで、特にイギリスを中心に流行した「新しい複雑性」という音楽潮流の中で生まれた作品の演奏で優れた評価を受けています。本公演では、「新しい複雑性」の音楽の中心人物である作曲家ブライアン・ファーニホウの近作や本学教育学部音楽科教員の稲森安太己による新作を取り上げます。また、ピアノのヴィルトゥオジティの系譜を眺望する意味で、ロマン派のピアニストであるリストがピアノ用に編曲したベートーヴェンの交響曲と合わせて演奏いたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

〈プログラム〉

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 作品92（リスト編曲）

カールハインツ・シュトックハウゼン：ピアノ曲 IX

ブライアン・ファーニホウ：渦巻き ～自己類似リズムによる練習曲

高橋悠治：メタテシス

稲森安太己：ピアノ・エチュード 第2集（世界初演）

* 曲目は変更になる可能性があります。



©Photo by Samuel Andreyev

* 表面楽譜 / 稲森安太己《ピアノ・エチュード 第2集》より、©2024 by Edition Gravis Verlag GmbH

〈プロフィール〉

イアン・ペイス Ian Pace

オックスフォード大学、ジュリアード音楽院などでピアノを学ぶ。カーディフ大学博士号取得（音楽）。現在、ロンドン大学シティ校社会学部音楽・文化・社会学科教授。ピアニストとして現代の新しいピアノ音楽作品をこれまでに300曲以上初演。卓越した技術と音楽性で多くの作曲家から信頼を得て、協働している。40枚以上のCDをリリースし、特にイギリスの「新しい複雑性」の音楽の普及に貢献している。